



平成26年度日本大学学部連携研究推進シンポジウム
【国際シンポジウム】

事前申込不要
参加費
無料

サステイナブルコミュニティ形成のための 地域強靱化を目指した日本大学の役割

開催日：平成26年12月16日（火），17日（水）

会場：日本大学理工学部1号館 CSTホール，121会議室

【1日目】 12/16 火

CSTホール（1号館6階）

【2日目】 12/17 水

121会議室（1号館2階）

オープニング：開会 10:30

学部長挨拶

.....山本寛（理工学部）

主旨説明

.....増田光一（理工学部）

基調講演：

「持続可能な社会へ向けた福島への挑戦」

.....柿崎隆夫（工学部）

第1部：防災と海

13:20～ 特別講演「港湾の強靱化」

.....宮本卓次郎（横浜国大）

14:00～ A. 災害復興

15:50～ B. 防災

第2部：再生可能エネルギーの開発と利用

10:30～ オープニング

10:40～ A. 再生可能エネルギー

13:30～ B. 再生可能エネルギーと地域づくり

第3部：地域強靱化とソフトアイテム

16:20～ パネルディスカッション

17:45～ 懇親会

主催

日本大学学部連携研究推進
シンポジウム実行委員会

連携学部：理工学部，医学部，生物資源科学部，工学部，
芸術学部

協賛：日本海洋工学会

お問い合わせ：

日本大学理工学部海洋建築工学科

〒274-8501 千葉県船橋市習志野台7-24-1

TEL & FAX：047-469-5482 E-mail：ikoma.tomoki@nihon-u.ac.jp

サステイナブルコミュニティ形成のための 地域強靱化を目指した日本大学の役割

開催日：平成 26 年 12 月 16 日（火）、17 日（水）
会場：日本大学理工学部 1 号館 CST ホール、121 会議室

【1 日目】12/16（火） CST ホール（1 号館 6 階）

■ オープニング：開会 10:30

- 学部長挨拶
..... 山本寛（理工学部）
- 主旨説明
..... 増田光一（理工学部）
- 基調講演：「持続可能な社会へ向けた福島への挑戦」
..... 柿崎隆夫（工学部）

■ 第 1 部：防災と海

- 13:20～ 特別講演：「港湾の強靱化」
..... 宮本卓次郎（横浜国大）
- 14:00～ A. 災害復興
津波・原発災害からの生活・コミュニティ再建支援
..... 糸長浩司（生物資源科学部）
放射能被災農地での共生菌の活用デザイン
..... 上田賢志（生物資源科学部）
日本大学 N.RESCUE 国際救助隊の活躍から
..... 木村政司（芸術学部）
- 15:20～ B. 防災
災害時医療のレジリエンス
..... 山口順子（医学部）
災害時医療支援浮体とシステムの構想提案
..... 畔柳昭雄（理工学部）
首都圏災害と水上輸送
..... 能登敬一（プリスマリンデザイン）

【2 日目】12/17（水） 121 会議室（1 号館 2 階）

■ 第 2 部：再生可能エネルギーの開発と利用

- 10:30～ オープニング
- 10:40～ A. 再生可能エネルギー
森林系バイオマスのエネルギー化とマテリアル戦略
..... 片山義博（生物資源科学部）
分散型システムによるバイオエタノール生産戦略
..... 森永康（生物資源科学部）
サステナブルふくしまに向けた日大口ハス工学の取り組み
..... 伊藤耕祐（工学部）
- 13:30～ B. 再生可能エネルギーと地域づくり
海洋再生可能エネルギーと理工学部の取り組み
..... 居駒知樹（理工学部）
海洋エネルギーを軸とした東北復興への取り組み
..... 北澤大輔（東京大学）
Opportunities and Challenges facing Anaerobic
Digestion in New York States
..... Timothy James Shelford
(Cornell University, USA)
Bioethanol: perspectives and challenges in Brazil
..... Gilmar Clemente Silva
(The Fluminense Federal University, Brazil)

■ 第 3 部：地域強靱化とソフトアイテム

- 16:20～ パネルディスカッション
- 17:45～ 懇親会

主 催：日本大学学部連携研究推進シンポジウム実行委員会

連携学部：理工学部，医学部，生物資源科学部，工学部，芸術学部

協 賛：日本海洋工学会

お問い合わせ：日本大学理工学部海洋建築工学科

〒274-8501 千葉県船橋市習志野台 7-24-1

TEL & FAX：047-469-5482 E-mail：ikoma.tomoki@nihon-u.ac.jp

日本大学学部間連携研究推進シンポジウム
Nihon University Interfaculty Symposium

サステイナブルコミュニティ形成のための地域強靱化を目指した日本大学の役割

The Role of Nihon University toward Resilient Local-Society for
the Evolution of Sustainable Communities

開催日 平成 26 年 12 月 16 日, 17 日 (2 日間)

場所 日本大学工学部駿河台校舎 1 号館

12 月 16 日 (6 階 CST ホール), 17 日 (2 階 121 会議室)

12 月 16 日 (初日)

オープニング (10:30~12:00)

- 開会挨拶
- 学部長挨拶
- 代表者主旨説明

基調講演 (11:00~11:45)

持続可能な社会へ向けた福島への挑戦

“Challenge to Sustainable Fukushima Driving Future Society”

Professor Takao Kakizaki, College of Engineering, Nihon University

日本大学工学部 柿崎隆夫

ランチタイム

第 1 部 防災と海 (Disaster Prevention and Sea)

- 特別講演 (13:20~14:00)

港湾の強靱化

Resilience of Port and Business Continuity Plan; Takujiro Miyamoto, Yokohama National University

(東日本大震災当時東北地方整備局副局長)

A. 災害復興 (Revival from the disaster of the Great East Japan Earthquake)

(14:00~15:30)

1) 津波・原発災害からの生活・コミュニティ再建支援

Support Research for the Living and Community Reconstruction from the Tsunami and Nuclear

Disaster; Koji Itonaga, College of Bioresource Science, Nihon University

- 2) 放射能被災農地での共生菌の活用デザイン
Application of Microbial Interactions to the Utilization of Radioactively Polluted Agricultural Field; Kenji Ueda, College of Bioresource Science, Nihon University
- 3) 日本大学 N.RESCUE 国際救助隊の活躍から
The Role of the Nihon University N. RESCUE Project; Masashi Kimura, College of Art, Nihon University

コーヒーブレーク (15:30~15:50)

B. 防災 (Disaster Prevention) (15:50~17:20)

- 1) 災害時医療のレジリエンス
Medical Care Resilience in Times of Disaster; Junko Yamaguchi, Division of Emergency and Critical Care Medicine, School of Medicine, Nihon University
- 2) 災害時医療支援浮体とシステムの構想提案
Project Study on Floating Support and systems for Large-Scale Disasters; Akio Kuroyanagi, College of Science and Technology, Nihon University
- 3) 首都圏災害と水上輸送
Natural Disaster of Tokyo Area and Waterborne Transportation; Keiichi Noto, Bliss Marine Design Co. Ltd.

12月17日(2日目)

第2部 再生可能エネルギーの開発と利用 (Development of Renewable Energy and Utilization)

10:30 オープニング

A. 再生可能エネルギー (Renewable Energy) (10:40~12:10)

- 1) 森林系バイオマスのエネルギー化とマテリアル戦略
Strategies for Obtaining Energy and Producing Materials from Forest Biomass Resources; Yoshihiro Katayama, College of Bioresource Science, Nihon University
- 2) 分散型システムによるバイオエタノール生産戦略
Strategy for Development of Distributed Bioethanol Production System; Yasushi Morinaga, College of Bioresource Science, Nihon University
- 3) サステナブルふくしまに向けた日大ロハス工学の取り組み
LOHAS Engineering in Nihon University for Sustainable Fukushima; Kosuke Ito, College of Engineering, Nihon University

ランチタイム

B. 再生可能エネルギーと地域づくり (Renewable Energy and Development of Region)

(13:30～16:00)

- 1) 海洋再生可能エネルギーと理工学部取り組み
Ocean Renewable Energy and Research Activities of CST; Tomoki Ikoma, College of Science and Technology, Nihon University
- 2) 海洋エネルギーを軸とした東北復興への取り組み,
Tohoku Regeneration Based on Ocean Energy; Daisuke Kitazawa, Institute of Industrial Science, The University of Tokyo, Japan
- 3) Opportunities and Challenges facing Anaerobic Digestion in New York States; Timothy James Shelford, Department of Biological and Environmental Engineering, Cornell University, USA
- 4) Bioethanol: perspectives and challenges in Brazil; Gilmar Clemente Silva, Department of Exact Sciences, The Fluminense Federal University, Brazil

コーヒープレーク

第3部 パネルディスカッション：「地域強靱化とソフトアイテム」

(16:20～17:20)

懇親会 (17:45～)